

## 大河内発電所と史跡生野銀山を見学してきました。

年2回開催している関西支部の第一回見学会をさる5月15日(木)に開催し、関西電力(株)大河内発電所と生野銀山を見学した。前日までの雨も上がり快晴の中、26名の参加者を得て姫路駅から観光バスで朝9時30分から午後4時30分まで巡った。

大河内発電所のPR館「エル・ビレッジおおかわち」でビデオによる揚水発電システムの説明を受けた後、地下に設置された揚水発電所に入った。大河内発電所には4台の発電機が設置され、その発電能力は計128万KWで黒部水力発電所4倍もあるとのこと。

こっとん亭で昼食をとった後、生野ダムを巡って史跡生野銀山に行った。生野銀山は昭和48年に閉山するまで1200年もの永い歴史を持つ国内有数の大鉱山である。その間掘り進んだ坑道の総延長は350km、深さは880mにも及んでいる。観光坑道を巡り、大昔の掘削坑道の跡を目の当たりにし、掘削技術の移り変わりや人力の凄さに驚かされるばかりであった。非破壊検査などない時代によくも狭く長い坑道を掘り進めたものと、古人への想いに耽った見学会であった。

写真1は大河内発電所内での集合写真、写真2は生野銀山の観光坑道の全景である。



写真1

写真2

